

## 第9回首都圏広域地方計画協議会及び第9回北関東・磐越地域分科会議事要旨

日 時：令和8年5月13日（水） 14:00～15:00

場 所：さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害対策本部室（WEB 併用）

出 席 者：出席者名簿のとおり

議事次第：（1）新たな首都圏広域地方計画 計画原案（案）について  
（2）今後の協議会運営について（案）

### 主な発言内容

関東運輸局： 資料2-4 P4において、首都圏の将来像として、「国内・アジア・世界との人流・物流の活発化」や「輸出入の重要なゲートウェイ機能」とあるが、空と海のゲートウェイ機能の活性化については、運輸局としても重視している。首都圏と海外・他地域との輸送ネットワークや、広域観光・インバウンドの一層の促進という観点において、成田空港のゲートウェイ機能の強化や、空港と都心部等をしっかり結ぶことが重要である。そのためには、これから着手する成田空港アクセス鉄道の整備が不可欠である。広域観光・インバウンドという点ではPJ2-3において、当局が進めている江戸街道プロジェクトがあるが、こちらは今年度から海外に向けて「Edo Shogun Roads（江戸街道）」という名称で誘客に取り組んでいく。

GREEN×EXPO 2027とも連携し、機運醸成や来場者の輸送対策についても、取り組んでいきたい。

交通関係では、移動手段を確保できていない交通空白の解消に向けて、地域の輸送資源のフル活用について、他分野とも連携しながら取り組んでいきたい。

千葉県： 成田空港接続地域の記載についてはありがたい。成田空港では、拡張事業をはじめとする第2の開港プロジェクトを進めており、その効果を最大限に活用するため、エアポートシティ構想の策定、航空機産業の集積などに取り組んでいる。圏央道や東関東水戸線の整備により、東海圏から東北・北関東圏までが有機的に接続されるほか、羽田空港とも接続が強化される。成田空港の拡張や道路が整備されることにより、ビジネス、観光交流が活発化し、商圏の拡大が期待される。その効果を広域に波及させられるよう、みなさまとともに取り組んでいきたい。

会 長： ほかにご意見がないようであれば、これで原案の確定としたい。なお、パブリックコメント後に修正の必要が生じた場合は、各構成機関との調整を経たうえで、計画案を決定する。最終の決定については、協議会長に一任いただきたい。

（構成員意見なし）

関東地方整備局： フォローアップの大切さについてしっかり共有したい。計画が作りっぱなしで終わらないよう、進捗管理を協力してやっていきたい。目標設定・展開・具体化など、プロジェクトごとに担当する構成機関を定めて実施したいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

計画の認知度が低いことを危惧しており、認知度を高めていく工夫をしていきたい。

計画の実施について、各機関がそれぞれ自分事として取り組み、具体的にプロジェクトを進めていく体制を強くしていきたい。引き続き、構成機関のみなさまと一緒に取り組んでいきたい。

会 長： フォローアップのためのプロジェクトチームはいつ立ち上げるのか。

事務局： プロジェクトをつくる段階から関係機関にご協力をいただいている。計画決定後速やかに、プロジェクトチームという形で推進に向けた体制をつくっていきたい。

会 長： 今後の協議会運営については、説明のとおり運営させていただく。プロジェクトチームの立ち上げや現場見学会が予定されているので、これからも関係機関のみなさまにはご協力をよろしくお願いしたい。

以 上